

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年9月11日

【2017年9月2日～2017年9月8日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週レアルは、対円では下落しましたが、対米ドルでは上昇しました。2年国債金利は低下しました。

ブラジル中央銀行は9月6日（現地、以下同様）、政策金利を1.00%ポイント引き下げ、8.25%とすることを決定しました。利下げの決定は全会一致で行われました。

Copom（金融政策委員会）の声明文において、中央銀行は次回の会合で政策金利の引き下げ幅を縮小する可能性を示しました。また、今後は緩和サイクルの終了に徐々に向かっていく可能性についても言及しました。

今回の決定は大方の市場予想通りの結果となりましたが、発表されたインフレ率が市場予想を下回ったことなどから、金利は低下しました。

また、北朝鮮による地政学リスクが高まっていることで、円高が進行し、対円ではレアルは下落しました。

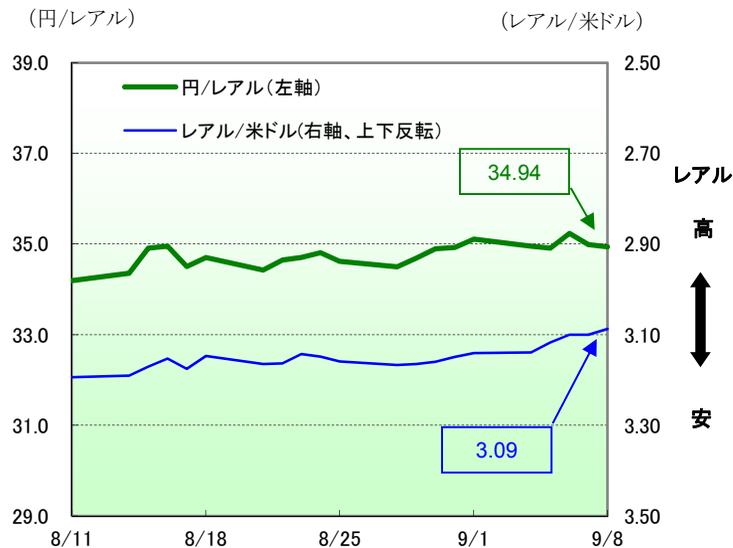
### 【2】今週の見通し

今週は、経済活動指数などの経済指標の発表があります。経済指標に比べて、政局や財政、年金改革法案の動向が市場を動かす材料になると思われます。

テメル大統領の支持率は低迷しており、歴代ブラジル大統領の支持率の中で最低を記録しています。その背景には、テメル大統領自身に汚職疑惑がつきまとう中、財政再建や社会保障改革などの国民にとって痛みを伴う改革を進めようとしていることなどが挙げられます。

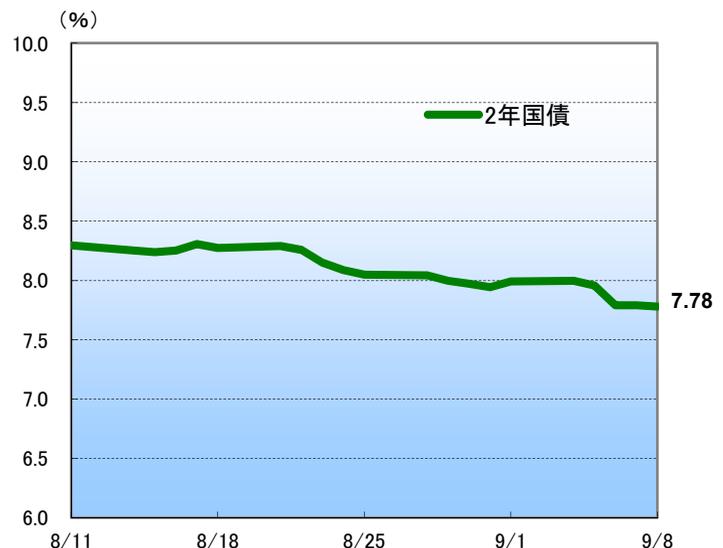
今後も、テメル大統領が中心となって進める来年度予算案などの喫緊の課題への取り組みは、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、ブラジル・レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年8月11日～2017年9月8日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年8月11日～2017年9月8日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management